

長野県資源循環保全協会青年部会

県の垣根を超えた交流事業

日頃より長野県資源循環保全協会青年部会活動への深いご理解、ご協力を賜り誠にありがとうございます。2022年度から青年部部会長を仰せつかっております佐藤です。新型コロナウイルス感染症が、5月に5類へ移行することから、青年部会の活動も一段階アクセルを踏み込む必要があると痛感しております。右も左も分らない状態で始めた部会長1年目、毎年行っている森林の里親事業、交流ゴルフコンペは実施できましたが、他にも事業をと考えているうちに時間だけが過ぎていってしまいました。その点については軌道修正し、折角いただいた大役ですので任期満了を迎えた暁には部会長という立ち位置にたてて良かったと思えるよう努めて参りたいと思います。力不足を痛感している所ではありますが、改めて皆様のご協力を宜しくお願いいたします。

さて、9月には大きな事業を計画しています。長野県、新潟県、富山県、石川県、福井県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県の9県の青年部会員が長野県へ集まり交流事業を開催し、県をまたいで親睦を深める大変貴重な事業です。規模についても県単体で実施している事業とは違い、多数の方が参加されますので、大きな事業を企画する良い経験が積み、長野県青年部会員にとっても大変有意義な時

間となるはずです。

9県の青年部会員の集まりが前回は9月に静岡県で開催され、処分場の視察をはじめ沼津漁港での昼食、夜は懇親会といった流れで普段接することのできない他県の仲間と顔を合わせることができ、各社各地域の情報交換にも花が咲きこの事業の意義を痛感しました。また、その際に催された企画により次の開催場所が長野県となってしまいました。事の発端は山崎将寛信越・北陸ブロック長の一言でしたが、勝負に負けたのは長野県メンバーのため結果は受け入れるのみ。できる限りのことをしようとの心の中で誓いました。

まだ少し先にはなりますが、9県の青年部会の会員が集まる大きな交流事業となります。参加者は多くて80名程になる予想もあり、中々経験できない貴重な機会となること必至です。そして長野県青年部会員の力を終結しなければ乗り切ることはできません。ぜひおもてなしの心を持ち、各県の会員の方たちの思い出に残る事業になるようご協力の程宜しくお願いいたします。

これからも、(一社)長野県資源循環保全協会がますます発展するよう、若い力を結集し、一致団結して取り組んでいきましょう！

青年部会 部会長 佐藤善雅
(株式会社佐藤商会 上田市)